

茨城NPO情報

MONTHLY COMMONS

茨城のNPO活動を応援する月刊情報紙

- ①…巻頭コラム・NPOのひとびと・トピックス
- ②…NPO一日体験・情報掲示板・五軒町だより・あとがき

第22号
2004.9

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町2-2-23生野ビル102号
Tel 029-300-4321 Fax 029-300-4320
URL: <http://www.npocommons.org>
E-mail: info@npocommons.org

NPOが元気になるには

コラム

▼8月末の総会でNPOの活動資金を確保する「茨城NPOボンド」の創設が承認されました。また、人材・情報センターについても設置の方向で検討することが承認されました。

▼ただ、NPOの活動推進には資金ばかりでなく、人材育成も、情報支援も等しく重要な課題であることを改めて指摘したいと思います。▼今回の総会でもNPO活動に対する社会的認知が問題とされましたが、そのためにはNPO活動の実績が問われます。多くの市民に認知される活動実績を挙げるためには、活動資金の確保は不可欠です。けれども、それには限られた資金で効果的に事業を推進できる人材が必要であり、また助成財団等に関する情報収集なども必要です。▼会費を負担している会員や助成を得ている財団等に対して、定期的な活動報告も出来ないようなNPO法人が社会的認知を得られるわけはありません。▼つまり、現在および今後のNPO法人の活動にとっては、NPO活動を担う人材の質とか、情報の収集や発信の能力といったことも、資金確保と同様に重要な課題なのです。▼茨城NPOセンター・コモンズは、これからは市民活動の原点に立ち戻り、県内NPOの資金、人材、情報面での支援、県南等でのサブセンターの立ち上げなど、茨城でのNPO支援を効果的に推進したいと考えています。

(文 理事 帯刀 治)

茨城県認証NPO法人

226(8月25日現在)

内閣府認証県在NPO法人

58(7月31日現在)

15年の夢叶い、「指定管理者」第1号



NPO法人 せんだいファミリーサポート・ネットワーク
代表理事 小林純子 さん

NPOのひとびと

協働は難しい

同法人の代表理事をつとめる小林純子さんは15年以上、子どもに関する活動をしてきた。山形で2人の子どもを育てる大変さに直面したとき、子ども劇場と出会い、仲間と楽しく子育てすることを学んだ。仙台に戻ってみると、市民センターで子連れの活動を行なうのに様々な制約があった。疑問を感じた小林さんは、市政リポーターに応募。行政との関わりはここから始まる。

行政がエンゼルプランをつくる際は、子育て支援仲間とエンゼルプランを考える会をつくり、各自治体の施策の調査をして提言もしたが、なかなかすぐには反映されない。

仲間をつくり、実行する

そこで、要望だけでなく、自ら子

どもと大人の両方を支援していくと、1998年MIYAGI子どもネットワークを設立した。子どもの支援としてはチャイルドライン事業を立ち上げ、2001年「チャイルドラインin MIYAGI」として独立、今では約50人のボランティアが、毎日3時間、フリーダイヤルで電話相談を受ける。利用は年間4000件にものぼる。

MIYAGI子どもネットワークは、保育士の資格がなかったり、子育て経験がないが、子育て支援に関わりたい人達の受け皿となり、約30名の組織で託児所を3箇所設け、出前保育も行なってきた。

実際にやってみると利用者がどんどん増える。仙台市にも気軽に情報が得られ、子どもが預けられる場づくりに取り組んでほしいと働きかけてきた。

仙台市指定管理者第一号

そして、いよいよ市が子育て支

仙台市の中心部、市のガス局ショールームビルの3階に今年1月、子育て支援施設「のびすく仙台」がオープン。家に閉じこもりがちな子育て中のママが幼児と一緒に訪れ、遊んだり食べたり、託児所を利用したり、友達をつくったり、相談にものってもらえる場として毎日200名近い利用がある。この施設は指定管理者制度により、NPOが管理代行する施設としても全国の注目を集めている。管理運営を担うNPO法人「せんだいファミリーサポート・ネットワーク」は、昨年3月に設立。秋に指定管理者となった。

援センターをつくるという話を聞きつけると、効果的な提案をするために市のセンター構想を聞き、理想のセンターを考える会を3回開いた。会に来た親たちからは、様々な意見やアイデアが出た。これらを実現するには、自分たちが運営した方がいいと、管理を受けける決意を固める。

施設を運営するための組織としてつくった「せんだいファミリーサポート・ネットワーク」は、商店街のリーダー、子育て情報誌の編集者、働きながら子育てをしている人、児童虐待防止に取り組んでいる人などにも理事として参加してもらった。

メンバーは子育て支援の経験はあるが、組織の実績はない。指定管理者を決める選考会では、メンバーのこれまでの活動をアピール。各質問に具体的な対応策を説明できたことなどが評価され、応募した5団体の中から選ばれた。

ニーズと実績から資金を

これまで、自ら資金をつくりながら新たなことにチャレンジしてきたと小林さん。

専業主婦はお金がかかると託児所を利用できない。ショッピングセンターでの託児では、店と提携して買い物のポイントを使って託児を利用できるようにしたら利用客が増え、企業が費用を負担してくれた。

「宅老所に助成するように託児所にも助成を」と市に働きかけ、

ボランティア団体が運営する託児所への補助制度も実現した。

工夫と試行錯誤の連続

指定管理では、従来の委託よりも、責任も重い裁量は広がる。お金の使い道は任せられているので公務員4人分ほどの人件費で7人のスタッフを雇った。お金の場所もない中でやるよりは、様々なことができるようになった。だが悩みもある。利用者のモラルが悪く、ルールが守られなかったり、モノが紛失したこともあった。ひとつひとつの苦情や要望を受け止め、解決策を模索し、みなでルールをつくっている。

今後の課題は、休日保育など利用者のニーズを行政に伝えることと、次の世代の担い手を育てること。小林さんは指定管理者制度を活かすには、行政は早く情報を開示すること、NPOは行政のやり方と市民ニーズを知り、データで行政を説得することが大事と語る。

(文 横田能洋、写真 和泉 孝
9月5日の龍ヶ崎市市民活動センター主催のフォーラムでの講演要旨)

NPO法人 せんだいファミリーサポート・ネットワーク
Tel&Fax 022-279-2852
のびすく仙台
(仙台市子育てふれあいプラザ)
Tel 022-726-6181
<http://www.nobisuku-sendai.jp>

TOPICS

コモンズの5ヵ年構想 — 3つのNPO支援センター構想 —

NPOボンド

地域の課題解決や地域資源の活用などに積極的に取り組むNPOなどの市民活動団体に、立ち上げ資金やつなぎ資金を融資し、NPO団体自体の基盤強化を支援します。あるいは、必要とする人材、物資等の紹介を行い、単に金銭面のサポートではなく、事業展開に生きる社会資源への紹介を含む総合的な支援ボンドとしての機能を果たすことを目的とします。

NPO人材センター

地域社会への貢献意欲や知識技術をもつ人材と、それを必要としているNPOをつなぎ、地域により質の高いサービスを提供できる事業力・組織力をもったNPOを増やしていくためのセンターです。NPOのスタッフとなる人材を育成する各種研修を実施するほか、NPO向けの人材活用に関する相談、市民向けの活動参加・就職・起業に関する相談、人材情報の提供ができる体制をつくっていきます。

NPO情報センター

NPOが市民とつながるために不可欠な「情報発信——広報——」を支援するセンターです。「NPO広報力支援・教育」「NPO紹介映像制作」「団体情報提供」「企業・マスコミとの提携」「ネット募金」等の事業を行います。2004年度は準備期間です。まずは人集め。広報のノウハウを持ちNPOを支援したいというボランティアを募集し、広報サポーター・グループを組織化する予定です。

情報掲示板(今月から来月にかけてのイベントなどを掲載しています)

◆◆イベント案内◆◆

■第8回水戸短編映像祭

期間 9月18日(土)~20日(月)

場所 水戸芸術館ACM劇場

上映作品

18日 午後1時~『犬猫』(日本初上映)

ゲスト:榎本加奈子、藤田陽子

午後3時20分~『CMの現在』

ゲスト:澤本嘉光、権八成裕

午後5時10分~『ヒロ杉山と箭内道彦』

ゲスト:ヒロ杉山、箭内道彦

午後7時~『新サイボーグしばたっ!!』

ゲスト:メロン記念日、おおなりてつや

19日 午後1時~『be found dead』

ゲスト:宮沢章夫、松尾スズキ

午後4時~『シラレゾGP』

ゲスト:リリーフランキー、山田広野

午後7時~『画と音』

ゲスト:曾我部恵一、奥原浩志

20日 正午~【コンペティション部門】

ノミネート作品上映、ノミネート作家舞台挨拶、審査結果発表&授賞式

チケット 18日各1,000円、19日各1,500円、

20日コンペティション部門1,500円

問い合わせ

財団法人水戸市芸術振興財団(水戸芸術館)

Tel 029-227-8111

水戸短編映像祭公式HP

http://www.mitotanpen.com

■環境講演会「クリーンエネルギーとしての燃料電池」参加者募集

クリーンエネルギーの最も現実的なツールとして、期待されている燃料電池について、実物を使って、燃料電池の仕組み、用途、環境的効果、今後の課題など、わかりやすく説明します。

日時 9月28日(火)午後1時~3時

場所 古河市福祉の森会館 視聴覚室

講師 大久保彰さん(三洋電機株式会社営業開発本部燃料電池担当部長)

定員 先着100名

参加費 無料

主催 NPO法人 まちづくりネットワーク

後援 関東経済産業局・古河市・総和町

申し込み・問い合わせ

古河市役所地球環境課

Tel 0280-22-5111 Fax 0280-22-5105

総和町環境課

Tel 0280-92-3111 Fax 0280-92-7745

NPO法人まちづくりネットワーク

Tel&Fax 0280-47-0033

http://www.machi-net.org/

■「さをり織り」の実演および展示会の開催

利根町社会福祉協議会が主催する「ボランティアまつり」に併せて、日頃、利用者が取り組んでいる「さをり織り」への理解と普及活動のため開催します。

日時 10月3日(日)午前11時~午後1時

場所 利根町公民館(下曾根)

内容 「さをり織り」の実演および作品の展示。また、希望者には「さをり織り」の体験を予定

問い合わせ NPO法人 あさひ

Tel 0297-68-2381

■5周年記念講演会参加者募集

皆様のご支援・ご協力のおかげで、この秋に満5周年を迎えることになりました。皆様とともに歩んだ5年間のがんばりをたたえ、今後の更なる発展を願って、5周年記念行事を行います。

日時 10月9日(土)午後1時15分(開場15分前)

場所 龍ヶ崎市文化会館小ホール

内容 記念講演「力愛不二」介護に必要なもの~それは“愛と力”(ケアプロデューサーRX組代表 青山幸広さん)、方言朗読劇はらんきょう版「茨城弁で語る女性差別撤廃条約」、心の歌・みんなの歌(シャンソン歌手 木山栄子さん、ピアノ伴奏 浜田淳子さん)

参加費 無料

*事前申込制 9月16日(木)午前10時~

問い合わせ NPO法人 ユーアンドアイ

Tel 0297-62-2667 Fax 0297-62-2698

E-mail: kouen@npo-ibaraki.or.jp

http://www.npo-ibaraki.or.jp

■NPOリーダー講座-NPOマネジメントの課題と実践方法-受講者募集

この講座ではNPOの現場でマネジメントの役割を持つ人々を中心に、NPOマネジメントの課題を明らかにし、その課題達成のための実践方策を組織、運営・管理における人事の面から検討します。

開講日・テーマ

第1回 10月2日(土) NPOマネジメントの構造

第2回 11月27日(土) NPOマネジメントにおける組織と人事

第3回 12月11日(土) NPO組織内コミュニケーション風土の形成

時間 午前10時~正午

場所 常磐大学

講師 吉永宏教授(コミュニティ振興学部)

定員 20名

受講料 3,000円

問い合わせ 常磐大学生涯学習センター

Tel 029-232-2852

■なかよし広場 森であそぼう!参加者募集

日時 10月30日(土)午前10時~11時半頃(受付30分前)

場所 水戸市森林公園(森の交流センター集合)

内容 障がいをもつ子もたない子も虫や植物に親しもう!

参加費 1人300円(会員200円)、1家族500円(会員300円)

持ち物 帽子、水筒、タオル、葉っぱなどを入れるビニール袋、お弁当(可能な方は一緒に)

*雨天決行(ホールで簡単な木工作を予定)

申し込み 10月25日(月)まで

問い合わせ NPO法人 水戸共に育つ会

Tel 090-9317-5979 Fax 029-232-0176

E-mail: mitotomo2004@ezweb.ne.jp

■女性のためのしたたか・しなやか起業塾

このセミナーは、新たな事業分野を開拓する女

性起業家を数多く育てるために開催します。

日時 10月7日(木)、8日(金)、9日(土)

午前10時~午後4時

場所 茨城県三の丸庁舎(旧県庁)

会議室B(3F)

プログラム

7日 女性起業家としての心構え、オリエンテーション

8日 起業経験者の体験談(事例紹介・問題解決)、起業を正しく理解する

9日 会社経営シミュレーション、ビジネスプラン作成

対象者 起業に関心のある県内在住の女性

定員 30名(先着順)

参加費 3,000円

申込締切 9月30日(木)

主催 社団法人いばらきニュービジネス協議会、茨城県、財団法人茨城県中小企業振興公社

申し込み・問い合わせ

社団法人いばらきニュービジネス協議

Tel 029-227-8383 Fax 029-227-8484



夏休み中の3日間、教員の社会体験研修として「茨城NPOセンター・コモンズ」で研修させていただきました。

事務所は、講座開催やNPO支援など多くの事業が同時進行し、外部のスタッフやボランティアの方々が出入りして、活気に溢れています。見学や体験希望の学生さんも毎日のように訪れ、私が社会に出る頃には存在しなかったNPOですが、今は卒業後の選択肢の中の、魅力あるひとつとなっているようです。

私は、小学校へ配布するNPO紹介ビデオのリーフレットを作成するお手伝いをさせていただきました。NPOについて書かれたものを調べて簡単な言葉でまとめながら、私も理解を深めることができました。また、様々な人達によって設立された数多くのNPOの存在を知ることができました。

その他に、NPO法人「水戸こどもの劇場」が水戸市の子育て交流支援事業で行っている子育てサークル、「くじらランド」で体験実習をしたり、新しくNPOを立ち上げようとしている方々への説明に同行させていただいたりもしました。

「くじらランド」では、夏休みということで、NPO法人「水戸こどもの劇場」の中学生会員がお手伝いに来ていました。赤ちゃんを抱っこさせてもらって、「赤ちゃんって、癒されるねー!」と声をあげる子。若いお母さん相手に「オレの学校ってさあ…」と話す子。「あなたが赤ちゃんだった頃も、お母さんにこんな風にして貰っていたのよ」と諭されている子。そんな様子を見て、この中学生たちは、とてもよい体験をしているなあと思ったのと同時に、子ども達の居場所や活躍する場所は、学校だけではないのだ、と感じました。

NPOとは、「社会をよりよくしたい」という目的を同じくする人達の集まり、とのことですが、よりよい社会の実現のためには、次世代を担う子ども達の育成が欠かせません。今回のNPO体験研修でも、「将来のために子ども達に伝えたい」思いを熱く持っておられる方々と出会いました。学校へ戻りましたら、教師として、いろいろな方と手を携えて、児童たちの成長に関わっていけたら、と思います。また、児童達が



茨城NPOセンター・コモンズにて

将来「自ら問題を探し、解決するために行動できる」市民となれるよう、微力ながら努力したいと思います。

最後に、「コモンズ」に隣接し、事業の一環として運営されているコミュニティレストラン「とらい」での、ヘルシー且つ家庭的なランチは、3日間の研修の楽しみでもあり活力源でした。お弁当やディナーもあるとのことですので、ぜひ利用させていただきたいです。

コモンズの皆様、大変お世話になりました。ありがとうございます。

(文 石井彩子さん、笠原小学校)

五軒町 だより

事務日誌にかえて

食欲の秋に

おいしいものを食べると元気になれる。そんなのは私だけでしょうか。

暑さもやっと緩んで、食べ物がおいしく感じられる季節になってきました。そんなこの頃、前から気になっていた養蜂場の営業店をついに訪ねてみました。平屋建ての一角に棚を並べただけのこじんまりとしたお店ですが、はちみつ関連の品物がいろいろ揃っていて、もの珍しさにしげしげと見てしまいました。隣の常北町に養蜂場があり、なんと65年も続けているとか。健康食の流行とかではない流れの中で営まれているものなのですね。

翌日、私の朝食はとろけるようなはちみつトーストでした。

(文と絵 草間多佳子)



本紙常備施設・お店

- ハモナカフェ(Tel029-871-2157) 水戸芸術館(Tel029-227-8111) 水戸カトリック教会(Tel029-221-3976) ギャラリー「街かど美術館」(Tel0294-72-8888) 自然食レストラン「パンクン」(Tel0293-42-1818) 常陸太田生涯学習センター(Tel0294-72-8888) カフェ「ピアノシモ」(Tel029-255-3777) 自然食品「イーハトーブの森」(Tel090-9933-9236) こどもとおとなの学校「恵藍舎」(Tel029-246-9689) 県水戸生涯学習センター(Tel029-228-1313) 交流サロニー「いばらき」(Tel029-302-2160) 水戸市国際交流センター(Tel029-221-1800) 水戸市福祉ボランティア会館(Tel029-309-4141) まちの駅みと(Tel029-302-3100) 菜食カフェレストラン「Ritz'n (りつん)」(Tel029-856-0009) つくば市市民活動センター(Tel029-855-1171) 鹿嶋市立中央図書館(Tel0299-83-2510) 龍ヶ崎市市民活動センター(Tel0297-63-0030) 守谷市民活動支援センター(Tel0297-46-3370) 下館市立図書館(Tel0296-24-3530) 県西生涯学習センター(Tel0296-24-1151) 県南生涯学習センター(Tel029-826-1101) 県立図書館(Tel029-221-5569) 水戸市立中央図書館(Tel029-226-3951) 水戸市立西部図書館(Tel029-255-5651) 水戸市立東部図書館(Tel029-248-4051) まちかど情報センター(Tel0299-27-5171) 水戸市男女文化センターびよんど(Tel029-226-3161) ロイヤルフィットネスクラブ(Tel029-273-3281) 阿見町町民活動センター(Tel029-888-2051) 伊奈町立図書館(Tel0297-58-3710) コープフレール水戸店(Tel029-246-1421) 学びの場「あがべ」(Tel029-221-8836)

あとがき

今月限までなんて言わないで!...とは言わないけれど。(くま) 「めつき」という言葉は水銀を溶かすとき「金を減する」ことから減金という。(ユキ) 秋が来れば思い出す。遥かな尾瀬ってホントに遠いよ~。(公威) 教育・心理・保育畑に帰ります。保育士めざしてがんばりまんも~(カムイ)